

研究の取り組みと論文の執筆について

論文掲載のプロセスは、たやすいものではない。調査・研究の長い道のりの中で論文化の端緒を見つけ、原稿を書き起こし、同僚や指導教員の指導を受けながら幾度となく論理を組み立てなおし、表現を推敲し、最終稿の投稿に至る。投稿論文が幸いにしてリジェクトされなくても、次には査読意見に答える試練が待ち受ける。あちらを立てたら、こちらが立たぬ。苦しみの中で改稿していくと、不思議と論文の主旨は研ぎ澄まされ、論文の新規性は際立ってくる。最終的に採択された論文は、数か月前に書き上げた第一稿と比べると、見違えるほど洗練された作品になっていることだろう。

第1回の若手支援企画では、研究奨励賞を受賞された2名の会員に研究の過程を再現していただく。論文化の鍵となるアイデアとの出会い、執筆の苦労とブレイクスルーのきっかけ、改稿・査読対応のポイント等を語っていただき、その後、参加者との対話の場を設けたい。

日時 2021年3月20日(土)10:00~12:00

場所 オンライン開催

司会者 田上 哲 (九州大学)
草原和博 (広島大学)
提案者 熊井将太 (山口大学)
田中 怜 (筑波大学)

申込方法

参加には申し込みが必要です。学会ウェブサイトの若手企画申し込み窓口 (<https://www.nasem.jp/>) にて必要情報をご記入ください。(締切3月13日) 開催前日に、メールで Zoom のリンクをお知らせします。最新情報は、学会ウェブサイトにもアップしますので、ご確認ください。

※本企画は会員のみ参加できます。なお、本企画への参加は無料です。

お問い合わせ先：日本教育方法学会事務局
〒739-8524 広島県東広島市鏡山 1-1-1
広島大学大学院人間社会科学研究科教育方法学研究室気付
hohojimu@riise.hiroshima-u.ac.jp